



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和元年10月18日  
東久留米市立南中学校  
校長 小川 高弘

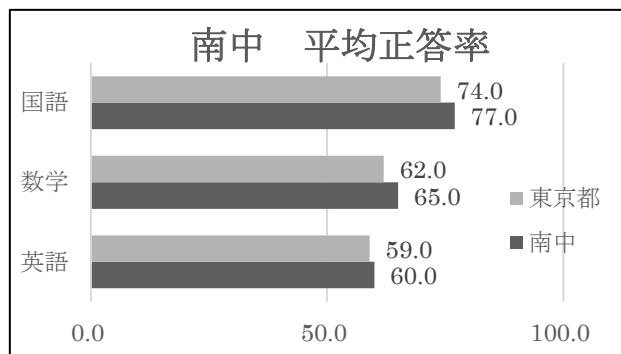
## 「全国学力・学習状況調査」結果について

校長 小川 高弘

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における指導の充実や改善に役立てることを目的として、毎年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しています。昨年度までは、各教科A問題（主として知識に関する問題）とB問題（主として活用に関する問題）に分かれていましたが、今年度は統合されました。

南中の各教科の平均正答率は、どの教科においても、東京都の平均より1～3ポイント上回っています。問題の形式が変わったため、直接の比較はできませんが、平成29年度・30年度も同様に、東京都の平均を上回っていました。

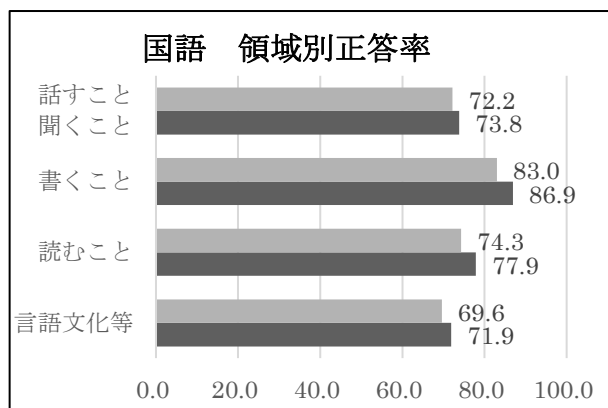
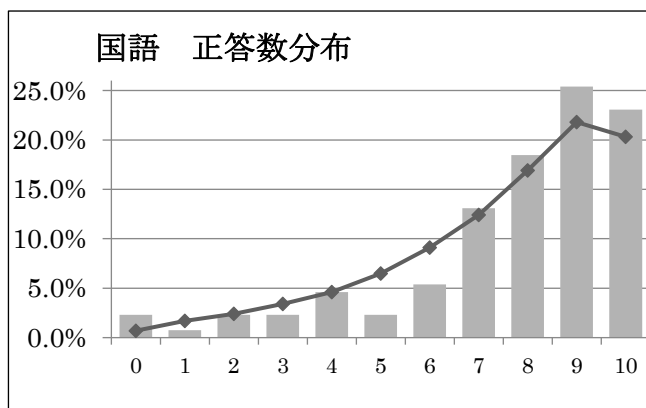
正答数分布グラフは、縦軸が生徒数の割合（%）、横軸が正答数、折れ線グラフが東京都平均、棒グラフが南中の割合を表しています。領域別正答率の横棒グラフは、上段が東京都平均、下段が南中平均を表しています。



### 《国語》

正答数分布グラフによると、南中。東京都ともに、正答数の多い層に厚く分布しています。領域別にみても、すべての領域において東京都平均を上回っている。昨年度実施した東京都の調査でも同様の結果でした。

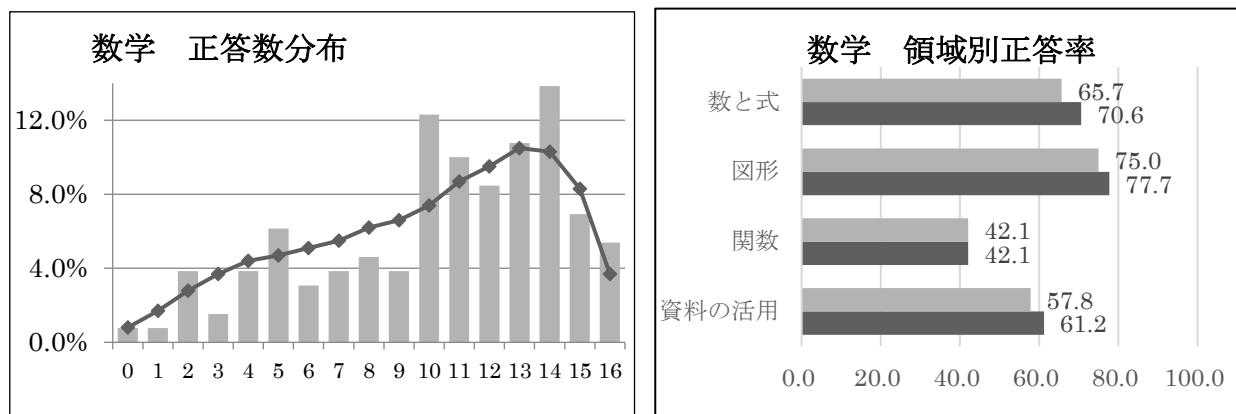
1年生では、短い文を書き、文章を書くことへの抵抗感を減らすことに取り組みます。2年生では、文の構成を効果的に考え、自身の考えが的確に伝わるような文章を書くことに取り組みます。3年生では、集団の中で発表することや他者の発表を聴くことを増やしていきます。



## 《数学》

正答数分布グラフによると、正答数の多い層に厚く分布していますが、正答数が少ない層にも幅広く分布しています。すべての領域において東京都平均を上回っていますが、全般的に「関数」に課題が見られます。

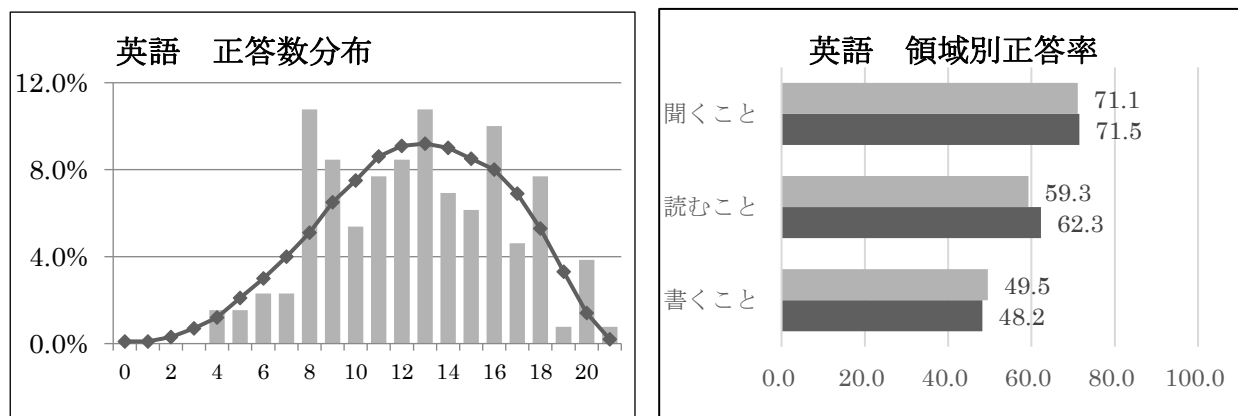
1・2年生では、基礎的な計算力の定着のために、計算問題に繰り返し取り組む時間を作っていきます。3年生では、計算問題だけでなく、関数や図形を含む複合問題にも取り組んでいきます。



## 《英語》

正答数分布グラフによると、正答数が中程度の層に厚く分布しています。「書くこと」がわずかなではありますが、東京都平均を下回っています。事実やテーマから考えられる、まとまりのある文章を書くことができるようにしていく必要があります。

1年生では、教科書の本文を繰り返し書くなど、書く活動を増やしていきます。2年生では、単語のスペルだけでなく、文法のルールに則った文を書けるように取り組めます。3年生では、既習事項や新たに学んだ文法を活用した英作文に取り組めます。



生徒の学習状況を分析して作成した、全教科の「授業改善推進プラン」を学校ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

○ 修学旅行 9月5日(木)～7日(土)

暑い中でしたが、天候にも恵まれ、大きな事故もなく無事に実施することができました。自分たちでコースを考えた班別行動やクラス行動を通して、生徒たちは大きく成長しました。当日は、スローガン「一寸光陰 710 立派な伝統文化 古きの都 京都・奈良」を意識して行動し、良い雰囲気の中で3日間を過ごしました。たかが3日、されど3日。自分だけが楽しかったという旅ではなく、皆が楽しかったといえる、「修学」の名にふさわしい旅だったと思います。

【修学旅行担当 山本 哲也】



○ 第1学年校外学習(川越) 9月13日(金)

天候にも恵まれ1年生は川越に校外学習へ行ってきました。「万能一心～何事にも集中して丁寧に取り組もう～」のスローガンの基、事前学習で調べたことを実際に自分たちの目で見ることで様々なことを感じ、新たな学びへとつなげることができました。入学して以来、初めての校外学習、更には自分たちだけで考え、判断をし、行動しなければならないチャレンジングな一日でした。慣れない地で道に迷ってしまったり、どうしたらいいのかと悩むこともありましたが、自分たちで考え、正しい判断をすることの大切さを痛感したと思います。この日の経験を今後の学校生活に生かしてほしいと思います。お疲れさまでした。

【第1学年校外学習担当 山下 真実】



○ 生徒会役員選挙 立会演説会・投票 9月18日(水)

第61代 生徒会役員  
会長 遠藤 彩月  
副会長 佐藤 小桃 ・ 藤井 実央  
庶務 福泉 智子 ・ 北 悠里  
中原 鈴海 ・ 木原 愛莉





○ 第2学年校外学習（都内巡り） 9月20日（金）

この時期とは思えないぐらいの気温の中で、2年生は校外学習として都内巡りを行いました。校外学習のスローガンは「Let's search for Tokyo～五感で学ぶまだ見ぬ進化～」です。このスローガンに沿って、生徒たちは独自の目線で東京の魅力を見付けることができました。事後学習として作成した班ごとの新聞を、現在3階のフロアに掲示していますので、本校にお越しの際はぜひともご覧ください。

また、今回の校外学習は来年度の修学旅行の練習として、自分たちでコースを決め、行動しました。予定通りに行動することの難しさなどを感じた班も多くあったようです。今回の経験を踏まえ、来年度の修学旅行をより有意義なものにしていきたいと考えています。

【第2学年校外学習担当 鈴木 裕貴】



○ 第1学年理科出張授業 9月27日（金）

積水化学工業からゲストティーチャーを迎え、プラスチックの性質からプラスチックの種類を見分ける実験を行いました。どのクラスも熱心に取り組み、物質の違いを見出していました。



## 南中生の活躍

○トランポリン

第43回東日本トランポリン競技選手権大会 シンクロナイズド競技Aクラス男子  
優勝 寺沢 健太（2年2組）

○愛のひと声運動

健全育成標語

優秀賞 矢作 陽奈（2年2組）

「気付いてね 近くからのSOS」

優秀賞 高野 心花（2年4組）

「あいさつで 広がる笑顔 地域の輪」